

## 日本小児科学会推奨の予防接種キャッチアップスケジュールの主な変更点

2017年1月15日

- 1) 水痘ワクチン、B型肝炎ワクチンが定期接種化されました。
- 2) 定期接種のワクチンの接種間隔の上限が撤廃されたことを受け、4種混合、日本脳炎、ヒトパピローマウイルスワクチンの定期接種としての接種間隔の記載が変更となりました。



定期接種



任意接種



| ワクチン              | 種類  | 1回目の最低年齢  | 定期接種の時期                                     | 最後の接種の最高年齢  | 最低の接種間隔  |  |   |
|-------------------|-----|---|---|---|--|--|---|
|                   |     |   |   |   | 1回目と2回目  | 2回目と3回目  | 3回目と4回目                                 |
| インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ) | 不活化 | 2か月   | 2か月-5歳未満                                    | 5歳未満  | 3週 (最初の接種が7か月未満で、現在7-11か月の児)<br>3週 (最終投与として) (最初の接種が12か月未満で、現在1-4歳の児)                        | 3週 (2回目の接種が7か月未満で、現在7-11か月の児)<br>7か月 (最終投与として) (2回目の接種が12か月未満で、現在1-4歳の児) | 7か月 (最終投与として) (3回目の接種が12か月未満で、現在1-4歳の児) |
| 肺炎球菌 (PCV13) (注1) | 不活化 | 2か月   | 2か月-5歳未満                                    | 6歳未満  | 4週 (最初の接種が7か月未満で、現在7-11か月の児、または、最初の接種が12か月未満で、現在1-5歳の児)<br>8週 (最終投与として) (最初の接種が1歳で、現在2-5歳の児) | 4週 (2回目の接種が7か月未満で、現在7-11か月の児)<br>8週 (最終投与として) (2回目の接種が12か月未満で、現在1-5歳の児)  | 8週 (最終投与として) (3回目の接種が12か月未満で、現在、1-5歳の児) |
| B型肝炎 (HBV)        | 不活化 | 生下時   | —   | 特になし  | 4週   | 16-20週 (1回目より20-24週)   | —                                       |
| ロタウイルス            | 生   | 6週 (ただし、生後15週未満)                                | —   | 1価ワクチン (ロタリックス®) 生後24週未満<br>5価ワクチン (ロタテック®) 生後32週未満 | 4週   | 4週 (5価ワクチン ロタテック®のみ)   | —                                       |
| 四種混合 (DPT-IPV)    | 不活化 | 3か月   | 3か月-7.5歳                                    | 小児 (15歳未満) (注2)                                     | 3週   | 3週   | 6か月                                     |
| BCG               | 生   | 0か月   | 12か月まで (通常、5-8か月) (注3)                      | 5歳未満 (注3)   | —  | —  | —                                       |
| 麻しん、風しん (MR)      | 生   | 1歳  | 1回目は、1歳以上2歳未満、<br>2回目は5歳から7歳未満 (小学校入学前の1年間) | 特になし  | 4週   | —  | —                                       |
| 水痘                | 生   | 1歳  | 1歳-3歳未満                                     | 特になし  | 3か月 (13歳未満)、4週 (13歳以上) (注)   | —  | —                                       |
| おたふくかぜ            | 生   | 1歳  | —   | 特になし  | 4週   | —  | —                                       |
| 日本脳炎 (注5)         | 不活化 | 6か月   | 予防接種スケジュール 注意事項 (注11) を参照                   | 特になし  | 1週   | 1週 (注6)  | 4週 (定期接種年齢の範囲で数年開ける)                    |
| インフルエンザ           | 不活化 | 6か月   | —   | 特になし  | 4週 (2-4週) (13歳以上は、1回接種)  | —  | —                                       |
| 二種混合 (DT)         | 不活化 | 11歳   | 11-13歳未満                                    | 特になし  | —  | —  | —                                       |
| ヒトパピローマウイルス (HPV) | 不活化 | 2価ワクチン (サーバリックス®) 10歳以上<br>4価ワクチン (ガーダシル®) 9歳以上 | 12歳-16歳 (小学校6年生から高校1年生相当)                   | 特になし  | 2価ワクチン (サーバリックス®) 1か月<br>4価ワクチン (ガーダシル®) 1か月   | 2価ワクチン (サーバリックス®) 2か月半 (①-③の間は5か月)<br>4価ワクチン (ガーダシル®) 3か月                | —                                       |

注1 定期接種で定められた回数のPCV7接種を終了した6歳未満の児は、最後の接種から8週間以上あけてPCV13の追加接種を1回行う (ただし、任意接種)。

注2 4種混合ワクチン添付文書によると、小児 (15歳未満) が接種の対象。それ以上の年齢の接種に関しても、接種を妨げる科学的根拠はなく、接種に問題はないと考える。

注3 BCGワクチンの接種は、特別の事情 (免疫不全状態におかれる疾患) があることにより予防接種を受けることができなかったと認められた場合は、4歳に至るまでであり、その特別の事情がなくなった日から2年を経過するまでであれば定期接種の対象となる。(詳しくは、結核とBCGワクチンに関するQ&A、厚生労働省ホームページを参照 [http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/bcg/](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/bcg/))

注4 4週以上の接種間隔があていればよいが、13歳未満では、3か月以上の接種間隔を推奨 (2016年版米国CDCのキャッチアップスケジュール <http://www.cdc.gov/vaccines/schedules/hcp/imz/catchup.html>) を参照。

注5 2005年5月からの積極的勧奨の差し控えを受けて、特例対象者 (1995年4月2日から2009年10月1日生まれの人) の具体的な接種については厚生労働省のホームページ (日本脳炎) <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou20/annai.html> を参照

注6 I期2回接種後の場合は、最低6か月以上、通常、1年程度接種間隔をあける。